

地域で育む社会力 ～子供と大人が関わり合う体験活動・通学合宿の実践～

山形県戸沢村

活動名

戸沢小学校放課後子ども教室

関係する学校

戸沢小学校

※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）

| 活動区分 | コーディネーター数 | 子供の平均参加人数 | 開始年度 | 国庫補助 | 学習支援 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |
|------------|-----------------------|-----------|--------|------|--------------|-------|------------|
| 土曜日の教育活動 | | | | | | | |
| 学校支援地域本部 | コーディネーター数 | ボランティア登録数 | 開始年度 | 国庫補助 | 学習支援 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |
| | 1人 | 180人 | 25年度 | 有 | 無 | 無 | 無 |
| 放課後子供教室 | コーディネーター数 | 子供の平均参加人数 | 年間開催日数 | 国庫補助 | 学習支援 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |
| | 1人 | 20人 | 222日 | 有 | 有 | 無 | 無 |
| コミュニティスクール | 実施場所 | | | 開始年度 | 放課後児童クラブとの連携 | | |
| | 戸沢小学校図書室、各地区公民館（12）など | | | 14年度 | 連携型 | | |
| | 指定日 | | | 委員数 | 児童生徒数 | 学級数 | |

活動の概要・経緯

平成25年度より、学校統合により4つの小学校から1小学校となったが、放課後子どもプラン運営委員会（地域と学校づくり推進会議）において十分な協議と情報交換を行い、基本方針の統一認識を図りながら活動を進めてきた。

平日は、子供たちの放課後の安全・安心な居場所づくりとして、読み聞かせを行ったり、自主学習・工作等をしたりする環境を整えている。休日等は、地域の方々の協力を得ながら、自然体験や文化伝承活動、通学合宿等の様々な体験型の活動プログラムを展開している。子供同士、地域の方々との交流を通し、子供と保護者、そして地域住民の「社会力」を育むことをねらいとしている。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・運営委員会を小・中学校、保護者、地域共育（きょういく）活動団体、放課後児童クラブ、学校支援地域本部事業の幅広い関係者等で組織し、放課後の活動プログラムの企画・成果の検証や各団体との連携の在り方等について協議を行っている。
- ・平成14年度から各地区で行われている「戸沢流通学合宿」の一部を子供教室の体験プログラムとして位置付けており、地区ごとに実行委員会を組織し、地域の特徴を生かし、子供たちが主体的に取り組めるプログラムづくりに努めている。また、地区住民あげて通学合宿をサポートしていく体制を継続することで、村民あげて子供たちを育てていこうとする気運が高まることともに、子供と大人のかかわり合いにより人との結びつきを強め、郷土を愛する心の育成につながっている。
- ・学校統合後の子供教室の運営に当たっては、学校側の要望を取り入れ、スクールバスやプール開放の待ち時間を活用した活動に配慮している。

【実施に当たっての工夫】

- ・各地区の通学合宿実行委員会事務局や学校支援地域本部の地域コーディネーターと連携を図りながら実施している。
- ・中学生や高校生ボランティアにも協力を呼びかけ、地域の教育力を生かした通学合宿の実施により、様々な方が関わり合う機会としている。
- ・地域共育活動団体による休日等の自然体験や文化伝承活動等、活動プログラムの充実を図っている。

事業を実施して

- ・地区や婦人会、老人クラブの事業として通学合宿を位置付け、地域主導の活動へ移行したことで「地域の子供たちは地域ぐるみで育てる」意識が高まっている。
- ・異学年、お年寄り、中学生や高校生等との交流の和を広げることができた。人と人との結びつきを強め、郷土を愛する心が育ってきた。
- ・関係者間の連携を図ることで、子供の成長を多方面から見守ることができ、学校、地域におけるそれぞれの子供の姿について情報共有することができた。「元気をもらった」という地域の方々の声が多数あり、村全体の活性化を図ることができた。



夕食会



もらい湯